

資料1 医学図書館員が選ぶ患者のためのインターネット有効サイト

- オリジナル情報で学び、一方で患者情報ネットワークに繋がる。

1. 病気とその治療のための知識 を得るために

1) 書籍

看護職向けの解説書やマニュアルが患者・家族に近い立場で書かれており適切。

大きな書店なら医学・看護学専門書売り場がある。

医学・看護学専門書 日本医書出版協会 <http://www.medbooks.or.jp/>

一般書 日本書籍出版協会 本をさがす <http://www.books.or.jp/>

闘病記 Online 古書館パラメディカ <http://member.nifty.ne.jp/PARAMEDICA/>

日本国内の出版社リンク集 (TRC) <http://www.trc.co.jp/trc-japa/guide/publish.htm>

各出版社のサイトでは検索・注文ができます。

2) 医学・看護学雑誌の特集

疾患名など雑誌の特集のタイトル中にあることばで検索できる。商業雑誌がほとんどなので、出版社に注文して入手可能。ただしバックナンバーは品切れの可能性あり。

北里大学看護学部図書館雑誌特集記事索引

<http://bme.ahs.kitasato-u.ac.jp:8080/docs/doi/html/kantoku.html>

北里大学医学部図書館和雑誌特集記事索引

<http://bme.ahs.kitasato-u.ac.jp:8080/docs/doi/html/tokushu.html>

東京大学医学図書館和雑誌特集記事索引

<http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/cgi-source/tokushu-1.html>

3) 所蔵調査

NACSIS WebCat (国立情報学研究所) <http://webcat.nacsis.ac.jp/>

探している書籍・雑誌を所蔵している全国の大学図書館を知ることができる。

全国の公共図書館等の所蔵検索 <http://www.inh.co.jp/~yuichiro/opac.html>

WWW 上に OPAC を公開している公共図書館の所蔵検索ができる。

4) 図書館利用のための調査

医学図書館の一般公開 <http://www.ne.jp/asahi/citizen/information/>

全国の医学図書館の一般市民への利用条件を調査し、掲載している。

本人の身分証明書提示で利用できる図書館は 126 館中 42 館 (2001.1.31 更新)

旭川医大、秋田大医（貸出可）、茨城医療大（県内居住通勤通学者のみ）、麻布大（市立図書館の紹介必要）、横浜市大、厚生省図書館、国立国会図書館、日本歯科大、慈恵（問い合わせ）、日本学術会議図書館、国立公衆衛生院（問い合わせ）、東大医（問い合わせ）、東邦大医（一定条件）、国立医薬品食品衛生研、慶応大医、明治薬科（清瀬市のみ）、富山医科薬科、金沢大医、福井医大、山梨医大（貸出可）、岐阜大医、浜松医大、名古屋市大医、日本福祉大（貸出可）、三重大医、京都大医、阪大生命科学、神戸大医、和歌山県医大（貸出可）、岡山大医、川崎医大、放医研、徳島大医（貸出可）、香川医大、愛媛大医（継続利用者は貸出可）、高知医大、九州歯科大、長崎大医、熊本大医（一般市民にも開放と明記）、宮崎医大、鹿児島大医（問い合わせ）、琉球大医

5) インターネット

Yomiuri-Online 医療ルネサンス 1998～

<http://www.yomiuri.co.jp/life/medical/04.htm>

MEDOC：開かれたコミュニケーションのための医療情報プロジェクト

<http://www.marlow.or.jp/medoc/>

白血病、血液疾患、小児ガン、ガンに関連した情報を中心に、米国立ガン研究所や米国白血病協会などが提供するパンフレットなどの翻訳を提供している。

メルクマニュアル 第17版 日本語版 <http://merckmanual.banyu.co.jp/>

長い歴史を持つ有名な医学教科書。英語版17版も併せて利用できる。

診療ガイドライン情報（医療改善ネットワーク：MI-Net）

<http://www.mi-net.org/so/guideline.html>

日本の各学会 諸外国 厚生省・医師会・看護協会 医療機関・任意団体の作成したガイドライン（書籍編と学会誌・ネット編）の紹介とリンク。

6) データベース（インターネット）

PubMed

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi>

世界最大の医学文献データベース MEDLINE のインターネット版。無料。英語。

FREE MEDLINE 日本語ゲートウェイ <http://healthy.pair.com/>

PubMed への日本語説明のある入り口。ただし検索語も検索結果も英語のまま。

薬のガイド データベース <http://www.nihs.go.jp/tipdb/index.html>

薬の検索ができる。一般の人にもわかるように平易なことばで薬の説明をしている

7) 国内医学雑誌論文データベース (インターネット・有料)

医中誌パーソナル Web

<http://www.so-net.ne.jp/medipro/touroku/jamas/howto.html>

提供：医学中央雑誌刊行会 データ：1987～ 2400 誌

So-net の、医療従事者向けサイト「Medical Profession(Medipro)」の、有料コンテンツの1メニューとして提供。

基本料金 : 2000 円 (5 時間) 4000 円 (10 時間)

登録した月の基本料金は無料。その月に止めたら1カ月分の支払い
複写サービスは行っていない。

JMEDICINE (Enjoy JOIS)

<http://jois.jst.go.jp/enjoy-jois/jois/nl0s5010.cgi>

提供：科学技術振興事業団 (JST) データ：1981～ 5000 誌

課金制 基本料金 2,000 円 / 月

ファイル使用料：600 円/回 タイトル表示料 25 円/1 件 詳細表示料 160 円/1 件

複写サービス料金：基本料金 650 円/1 論文 プラス1頁毎に 65 円増

納 期：2～3 日間 (郵送)

IMIC ORDER http://www.imic.or.jp/iorder/ih_menu.htm

提供：(財)国際医学情報センター

文献検索 7000 円/件 複写 900 円/件

2. 闘病と生きかたの実際を知るために

Online 古書館パラメディカ <http://member.nifty.ne.jp/PARAMEDICA/>

闘病記を定価の半額前後で販売しているネットの古本屋さん

難病情報センター <http://www.nanbyou.or.jp/>

厚生省特定疾患の患者と家族のためのページ。難病のリンク集がある。

患者と障害者団体のリンク集 <http://www.primed.co.jp/selfhelp/index.html>

「全国患者会障害者団体要覧」(プリメド社)に掲載された患者団体のリンク集。

医療問題・患者会リンク集 (日本看護協会：わくわくナースネット)

<http://www.nurse.or.jp/link/problem.htm>

Starbright world (starbright foundation) <http://www.starbright.org/>

スピルバーグ監督が設立・運営している Starbright 財団が作った入院中の子供たちのためのバーチャルコミュニティー。

レット・ミー・ディサイド＝私の選択

<http://www1.doc-net.or.jp/~ninosaka/lmd.htm>

重症の病気や怪我のために、意志決定ができなくなったときに備えて「治療の事前指定書」を作成する方法を紹介している。

医療の目安箱 **<http://www.sf.airnet.ne.jp/nishi/index.html>**

医療関係者の本音が聞ける。

資料2 患者への情報サービスを行っている病院

新潟県立がんセンター新潟病院 からだのとしょかん

医学情報提供

担当者：市民団体「新潟ホスピスボランティア会」

http://www.niigata-cc.niigata.niigata.jp/Ipn_KaradaToshokan.htm

京都南病院 図書館

医学情報提供

担当者：図書委員長（医師） 司書

「医学専門書の利用にあたってのお願い」イングルウッド・ホスピタルを参考

<http://www.kyotominami.or.jp/home.htm>

聖路加国際病院 さわやか学習センター

医学情報提供

担当者：看護部中心。医師、司書、ボランティアが協力。院内 LAN,インターネットも使える。

http://www.luke.or.jp/topics/1999_year/sawayaka.html

日鋼記念病院 健康情報ライブラリー

健康情報提供

担当者：訓練を受けたボランティア

「情報提供ガイドライン」イングルウッド・ホスピタルを参考

浜松赤十字病院 いきいき健康図書館

健康情報提供

担当者：司書

（奈良岡 功. 患者・住民への医学情報サービス. 全国患者図書サービス連絡会会報

2001;7(2-3):30-38 .)

資料3 医学図書館員・病院図書館員の取り組み

全国患者図書サービス連絡会 (HP準備中)

近刊「患者さんへの図書サービスハンドブック」全国患者図書サービス連絡会編

発行：大活字 300頁 3500円 第5章 医療情報サービス

病院図書館員のためのウェブページ・フォリオ <http://www.hosplib.org/folio/>

図書館サービスへの支援サイトが患者にも役に立つ。

日本医学図書館協会 (JMLA) <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jmla/index.htm>

患者およびその家族の情報需要調査のためのワーキンググループ

診療ガイドラインのリンク集 (東邦大学医学メディアセンター)

<http://www.med.toho-u.ac.jp/library/guideline/guide.htm>

新聞、雑誌、インターネット等の情報からガイドラインを収集して紹介している。

東邦大学医学メディアセンター佐倉病院図書室 <http://202.16.213.76/>

患者への情報提供を念頭においたリンク集の作成を行っている。

資料4 参考になる調査報告

「インターネット上の医療情報の提供と利用の実態に関する調査研究」報告
(日本インターネット医療協議会：JIMA)

<http://www.jima.or.jp/JISSEKI/kousei1999.html>

平成11年度厚生科学研究(医療技術評価総合研究事業)の「新技術媒体を利用した医療等に関する情報の提供と利用の現状分析についての研究」の分担研究として実施。

全国調査「日本における臨床医に対する情報サービスの現状」
(JMLA 将来計画委員会中間報告-2000年5月)

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jmla/shorai-chukan.htm>

全国の開業医と勤務医を対象に「どうやって医学・医療情報を得ているか」を日本医学図書館協会(JMLA)が調査し、ホームページで公開している。